

経済・金融
フラッシュユーロ圏失業率(2025年7月)
ー若年失業率は過去最低水準を更新

経済研究部 主任研究員 高山 武士

TEL:03-3512-1818 E-mail: takayama@nli-research.co.jp

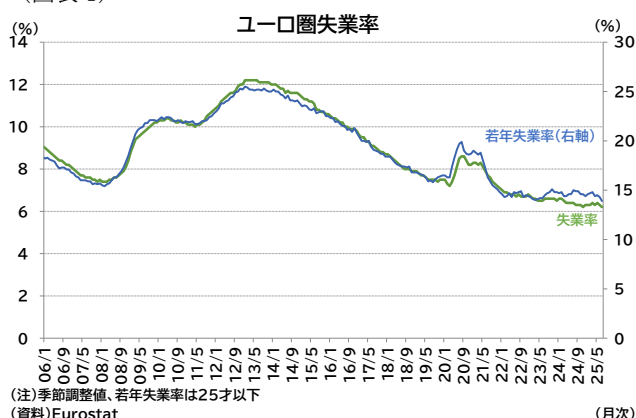
1. 結果の概要:全体の失業率は6.2%

9月1日、欧州委員会統計局（Eurostat）はユーロ圏の失業率を公表し、結果は以下の通りとなった。

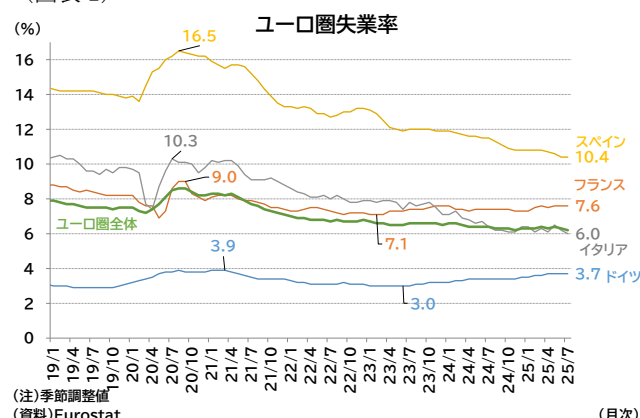
【ユーロ圏失業率（20か国、2025年7月、季節調整値）】

- ・失業率は6.2%、市場予想¹（6.2%）と一致、前月（6.3%）から低下した（図表1・2）
- ・失業者は1080.5万人となり、前月（1097.5万人）から17.0万人減少した

(図表1)



(図表2)



2. 結果の詳細:若年失業率は過去最低水準を更新

ユーロ圏（20か国）の7月の失業率は過去最低水準の6.2%となり、6月（6.3%）からやや低下した。なお、過去データはやや悪化方向に改定された（6月6.2%→6.3%、5月6.2%→6.4%、4月6.2%→6.3%）。

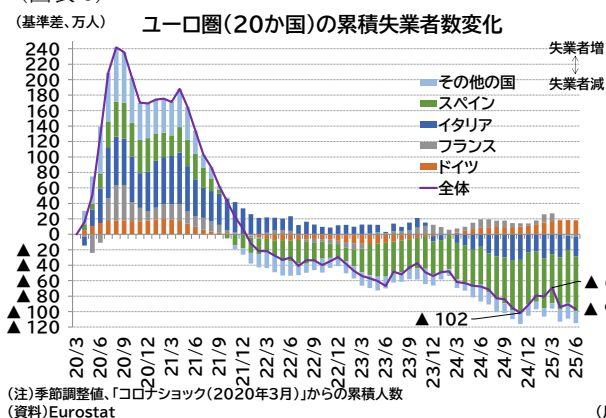
失業者数は7月の前月差で17.0万人減と大幅に減少した。主要4か国ではドイツ（0.2万人）、フランス（0.4万人）がやや増加する一方で、スペイン（▲1.1万人）、イタリア（▲7.4万人）が減少した。失業者数はコロナ禍前より86万人少なく、スペイン（コロナ禍前比▲72万人）が大きく、次いでイタリア（同▲35万人）が減少に寄与している。一方、ドイツやフランスはコロナ禍前よりそれぞれ21万人、16万人失業者が多い（図表3）。

7月の若年失業率は13.9%となり、6月（14.1%）から低下し、コロナ禍以降の最低水準（23年3月の14.0%）を更新した。なお、若年失業率も過去データが悪化方向に修正されている（6月

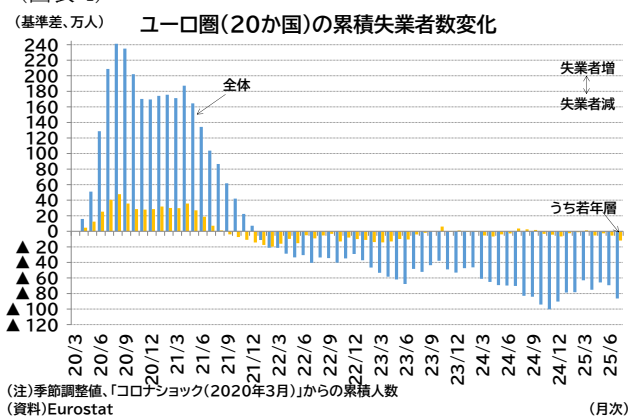
¹ bloomberg 集計の中央値。以下の予想値も同様。

14.1%→14.3%、5月14.3%→14.5%、4月14.3%→14.4%)。若年失業者数は7月で222.7万人(前月差▲6.4万人)と減少し、若年失業者数の水準はコロナショック直前(20年3月の234.6万人)を下回っている(図表4)。

(図表3)

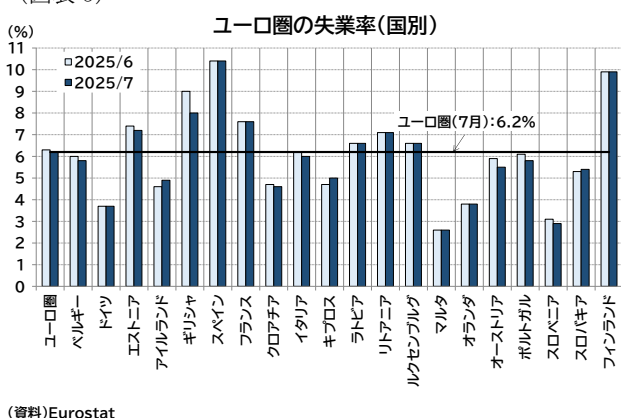


(図表4)

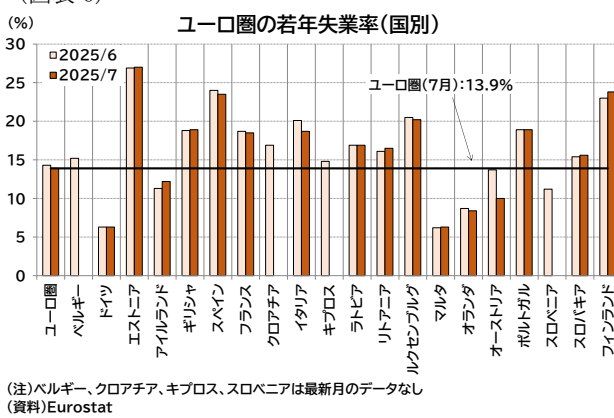


国別の7月のデータを見ると、失業率は公表されている20か国中、悪化した国が3か国、改善が8か国、横ばいが9か国だった(図表5)。若年失業率は、公表されている16か国中、悪化した国が7か国、改善が6か国、横ばいが3か国だった(図表6)。

(図表5)

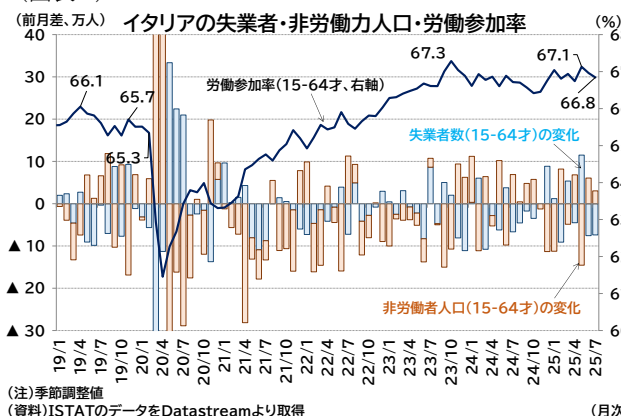


(図表6)

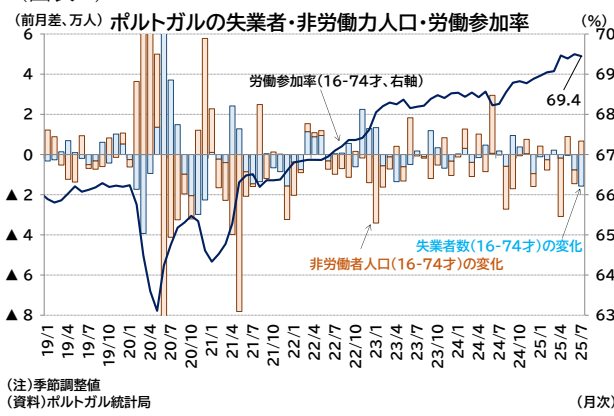


最後に詳細な月次データを公表しているイタリアとポルトガルについて確認すると、イタリアは失業者が減少、非労働力人口と就業者が増加し、労働参加率はやや低下した(図表7)。ポルトガルは失業者と非労働力人口が減少、就業者は増加した(図表8)。ポルトガルでも労働参加率は減少したが、依然としてコロナ禍以降の最高値付近にとどまっている。

(図表7)



(図表8)



本資料記載のデータは各種の情報源から入手・加工したものであり、その正確性と完全性を保証するものではありません。また、本資料は情報提供が目的であり、記載の意見や予測は、いかなる契約の締結や解約を勧誘するものではありません。